



森信三先生の一言

高すぎない目標をきめて必ず実行する。ここに「必ず」とは、唯の一度も例外を作らぬ・・・という心構えをいうのである。

自立研究委員会の発表会



自立研究委員会総合委員長 大阪営業所 檜田 淳二

五月十四日に自立研究委員会の発表会が開催されました。

今回で十回目の発表会になります。毎回、発表会の内容を考えプレゼンテーマなどを提案し司会進行を行っております。回を重ねるごとにグループディスカッションでの各グループの盛り上がりが増しているように感じます。各委員長が時間内でまとめることが大変なようです。また、プレゼンでは発表者がテーマに沿って解りやすく聞きやすいように工夫をし、時には笑いもとりながら発表しています。社員全員が、自立研究委員会への取り組みに対し積極的になっているからこそだと感じています。これからも、社員全員が少しでも成長できるような自立研究委員会になっていけばと思います。



海老委員会委員長 大阪営業所 海老正紀

五月十四日(土)に自立研究委員会の発表会がありました。今回はミーティングシート他に改善行動チェックシートが増え売上向上・利益向上をテーマに自分でテーマを決め目標に向かって行動する事により、考える力自身につける事を目標に個々の人間力が向上するようにスタートしました。個人目標に向かって行動していますが、少しずつできています。まだまだできていない人もいますが、こうしました、又こうしていますとかではなく、次はこうして行くという予定を立て自分の決めたテーマに近づこうという取り組みでいきたいと思えます。アドバイスも力不足ですが全員が目標達成できるように総合委員長と四委員長と共に学び前進しましょう。



川崎委員会委員長 福岡営業所 川崎 光隆

自立研究委員会では、各委員が年頭に掲げた目標(テーマ)に対して設定した期間内に目標を達成すべく活動を行なっています。今年で4年目を迎え、目標も前年に比べ志が高く日を追って成果も出ています。しかし、全てが順調と言っわけではありません。立止ったり、迷ったりした時は各委員からのアドバイスを参考にしたり、視点を変えたりと各自努力もしています。私は全委員が目標達成となり昨年よりも充実した成果を得る事が出来るよう、サポートやアドバイスを行ないたいと思います。同じ事を繰り返しては良い結果はできません。今年は新しい取組や考え方で活動しましょう！



越智委員会委員長 東京営業所 越智正和

①考える力を身につける

②社員の方から提案のあった案件を迅速に解決する

③創造性豊かな人間力を養うための社員教育をおこなう

この3つの目的のために創設されたのが、自立研究委員会です。私はその一つのグループの委員長として、みんながそれぞれの目標を達成出来るよう重要な役割を担っています。委員会のメンバーは様々な目標を掲げています。なかにはアドバイスが難しいくらいの目標に挑戦している方もおられます。自立研究委員会において気づいた事は、目標を決めていない現状というのは、とても勿体ない時間を過ごしているかもしれないという事です。目指すべき目標を掲げ、実践してこそ、学びは大きなものになるはず。委員長という立場ですが、やはりみなさんからの意見やアドバイスを学ぶことがあります。先に学んだものが後で学ぼうとする者を教える。半分は教えて、半分は学び続けるという半学半教の精神で残りの委員会も続けていきます。



和木委員会委員長 名古屋営業所 和木健三

自立研究委員会も早いもので4年目を迎えました。当初は、委員長自身もどう進めるのが正しいのかわからない手探り状態でした。また、目標設定も具体性に欠けていたり進捗も感覚で取っている状態でしたが、工夫や努力を重ねながら目標も達成していくようになりました。今回は、目標として「業績貢献」を掲げてスタートしました。大変な目標ですが、各人が目標達成に向け、また各人が自立し成長する為に現在チャレンジ中です。



経営理念

私たちは、住環境資材を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献します。私たちは、お客様に優れた品質の商品・サービスを提供し、より豊かな暮らしを応援することで、地域社会のパートナーになることを目指します。



「東京研修への思い」 代表取締役社長 細川康二



く覚悟が出来ました。

仲間と共に仕事が出来よう努めて行

当社は発祥の地、大阪を中心に、東京、愛知、和歌山、福岡に営業所があります。しかし、地域事情もあり、販売アイテムや営業スタイルはそれぞれ異なる状況にあります。少なからず歴史のある営業所は自らが構築した領域や商品群に思い入れがあり、その枠組みからなかなか抜け出す事が出来ない状況でした。私はその状況を少しでも打開し、お客様に情報と言う血液を提供しなければ当社の業界での存在意義が薄れてしまうと日々考えていました。そこで、私自ら遅まきながら、地方の営業所と共に同じ仕事をし、私の思いを伝える事をしなければ、新しい枠組みをそれぞれの営業所が創造構築する事が出来ないと考え、率先垂範の思いで営業所訪問を実践しました。「私もやるからみんなやる」と言う思いです。言うなれば全社的な営業所間交流で気付きを得ようと言う動きでした。しかし、私が営業所訪問を実践して気付いた事は、営業所に赴任して、様々なやり方等の言葉のシャワーをプレゼントするよりは、私がフィールドにいる関東で共に仕事をし、私の思いを言葉ではなく環境で感じて貰う事が一番の近道であると気づき、出張が可能な社員さんからどんどん東京に短期赴任してもらい、その環境を感じて気付きを得てもらおう事にしました。それも東京に短期赴任してきた社員さんからの助言と悩みの開示があったからです。東京短期赴任した社員さんが気付きを得て、自らのフィールドで気付きを具体的な実践に昇華する事が出来なければ、「感動」と「気づき」を得た単なる小旅行になってしまいます。気づきから実践へ、それが出来た時、お客様に求められる会社に近付くのではないかと考え、今後も営業所間交流を実践して頂く予定です。井の中の蛙大海を知らずでは、ダメです。社業を通じて、世間様に認められ求められる社員創りが我が社の役割として、今後も苦しくとも楽しく、

営業所が選ば



東京営業所研修を終えて 和歌山工場 淡路賢汰

まず初めに内勤業務で感じた事は、ファックス。電話による問い合わせの件数です。市場の差はあると思いますが、数ある中でサンコー物産東京営業所の信頼を得ている事。それを実現しているのは全員が同じ情報を共有・引継ぎができて全体行動が取れているからだと感じました。外勤業務では、朝8時から出発し配達・引取り・メーカーさん訪問など夜遅くまで休み無く走り、出先での発注・見積もりまで対応し一つ一つの対応力の質の高さを感じました。それも前日からの引継ぎ報告と行動予定をしつかりと立て、やるべき事が明確にできているからだと感じました。今回の東京勤務では、全員が同じ目標を持ち、それを実現する行動力・対応力を学び、今まで自分が行っていた業務内容を見つめ直すきっかけになりました。今回の研修で今後和歌山で取り組むべき課題が沢山ありました。今回の経験は自身と和歌山を変えていく為の分岐点・チャンスだと思います。今後の和歌山発展の為、自分のすべき行動を明確にし和歌山営業所・工場共に同じ目標を持ち、一つになり行動を起こしたいと思



東京営業所研修を終えて 和歌山工場 片岡真次

平成28年5月30日より、東京営業所研修を実施しました。自分は和歌山工場勤務の為、各営業所での勤務体制を間近で体験する事がほとんどなく、今回の東京研修が初めてとなりました。初日の勤務では何もできず、皆様の行動を見る事しか出来ませんでした。日が経つにつれ大変さが分かり、とにかく1日1日が本場に忙しく電話での対応と発注及び伝票処理などで手を休める事なく続ける事で体力の消耗もあり、皆様の帰宅時間も日付が変わる事が多く、本場に大変さが身に染みて分かりました。外勤も体験させて頂きました。朝8時頃に出発し、都内を回り午後9時頃に営業所に戻り、その間お昼の食事15分程度の休憩があっただけで後は車でひたすら回り続けました。車の移動中も電話での対応と発注を繰り返し行ない、外勤業務の大変さが分かりました。今回の東京研修で学んだ事は沢山あり、とくに一人一人の行動力と能力がすごい所と、協力的な所が多く素晴らしいと感じました。この研修を終えて和歌山に戻り、今自分に何が出来るかを考えました。今後の取組みは工場勤務と営業所関連と訪問営業を実施する事に致しました。営業活動は何も分からないままでのスタートとなりますが、今までの自分を変えるチャンスだと考え進んで行きたいと思

母からの恩おくり

代表取締役会長 細川 三郎



先祖の恩、父母の恩、何人も父母なくしてこの世に生を授かることは出来ない。昔から父母の恩恵は、天よりも高く海よりも深く教えられてきた。私は早くから父を亡くし、母親のみの天よりも高く、海よりも深い愛情を授かり大きくなって参りました。今日私があるのは、先祖の恩、両親の恩あるが故と常に感謝しております。私の幼少期、学生時代に母から教えられた事項が、成人になり、又社会人になり、そして現在の会社理念にまで浸透した言葉がございます。それは、自分自身の成長に役立ち、人間として生きる基本の教えになりました。母の恩おくりの三つの言葉です。幼少期はいつも口癖のように言って聴かせてくれたことです。

(一) 挨拶をする (二) 嘘をつくな (三) 弱い者いじめをするな

社会人になってこの三点の教えは、人間として生きさせて頂く基本だと思っています。

次に高校卒業後、社会人になる前日に、社会人になる心構えといて、次の三つのことを教えてくれました。

(一) 謙虚な生き方(二) 質素な生活を (三) 慈悲と感謝の気持ちを持って

こんなことを教えてくれました。この教えは人間が人間として生きる原点となり、会社では経営理念と行動規範として全員が学習しています。これはすべて母の恩おくりの教えです。

夏のお点前・葉蓋(はぶた)



季節のお点前に「葉蓋」と呼ばれるものがあります。これは、自然の植物の葉を水指(みずさし)の蓋の代わりにするものです。主に梶の葉や、蓮里芋、蓴などの葉を使います。葉の上に少し露をためておき、瑞々しい緑がとても涼しげです。これは裏千家十二世玄々斎の創案されたもので、裏千家だけのお点前だそうです。夏らしい雰囲気の中、おいしいお茶を一服いかがですか。

本社 津上勝代

四月十四日に発生しました熊本地震により被災されました皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。また被災地の1日も早い復興と、皆さまがおたやかに過ごされる日々が少しでも早く訪れますよう心よりお祈り申し上げます。今回もたくさんの記事にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。 JANKO

編集後記 本社総務部

私の提言

仕事が遅くて怒るお客様はいても、早くて怒る人はいない。見積でも配達でも、何でもスピード感を持って仕事をする

大阪営業所 山田 博士